

保健福祉企画総務課長 様

道路保全課長 服部幸男

設計支援委員会結果報告書

平成 2 0 年 6 月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	市道南方柳町線歩道舗装修繕工事 (自転車通行帯と歩行者通行帯の分離、それに伴う点字ブロックの移設及びインターロッキングブロックの修繕)
設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<ul style="list-style-type: none">・橋梁部の点字ブロックを貼り付け式ではなく、埋め込み式にしたほうがよいのではないか。貼り付け式は耐久性がないのではないか。・点字ブロックは、エスコートライン(横断歩道内の点字)があれば3列でもよいのではないか。そのほうが、ベビーカー等が通りやすいはず。・自転車専用の通行帯である旨を通知する標識等を早期に設置しないと危険ではないか。また、多様な媒体(ラジオ、テレビ、フリーペーパー等)を使って周知したほうがよいのではないか。・植樹帯の奥行きが1mあると自転車が駐輪しやすいので、奥行きは狭い方がよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none">・本工事で使用する予定の点字ブロックは、道路に塗り付ける溶融式工法なので年数が経って剥がれたりすることはない、耐久性も問題はない。・継続事業であり、施工済箇所との整合を図る必要があるため、構造の変更は難しい。・周知については、県がすることになると思うが、岡山市広報課にも協力をお願いしてみてもよいと思われる。・既存の植樹帯との整合を図る必要があるため、変更は難しい。